

## — 政策医療（教育研修・情報発信） —

- ・ 医療内容の高度化・多様化に応じた臨床研修、医療専門職の養成、地域医療従事者の生涯教育等の教育研修については、レジデントの受け入れや地域医療研修センターの整備を進めるなど、積極的に実施する。
- ・ 国立病院・療養所ネットワークにより得られた研究成果や最新医療、標準的医療等に関する情報を我が国の医療従事者に提供することにより、医療の向上に寄与する。また、広く患者、国民にも医療情報を発信する。

## 【取り組み状況】

- ① 医師の教育研修（P2）
  - イ）臨床研修医の教育における国立病院・療養所のシェアは施設数 44 で全国比 8.6%、研修医数 686 名で全国比 5.3%。
  - ロ）その他、卒業後 3～5 年の医師を対象としたレジデントに対する研修、ナショナルセンターにおいて卒業後 5 年以上の医師を対象に専門修練医に研修を実施。
- ② 看護師等医療従事者の養成（P3）
  - イ）看護師 75 施設、助産師 5 施設、視能訓練士 1 施設、理学療法士・作業療法士 9 施設に養成施設を設置。
  - ロ）平成 13 年 4 月には、国立看護大学校を開設。
- ③ 政策医療ネットワーク構成施設間の政策医療に関する知識・技術の向上や情報交換等を図るため、政策医療ネットワークを活用した専門的教育研修を実施。（P4）
- ④ 政策医療ネットワークにおける臨床研究の推進や最新の医療、標準的医療に関する情報の交換・普及を図るため、政策医療ネットワーク構成施設間の電子的なネットワークを整備。（P5～9）
- ⑤ 地域医療研修センター（後述）

## 臨床研修医、レジデント、専門修練医の状況等

### 1. 国立病院等における臨床研修医等の定数(平成14年度) (単位:人)

	臨床研修医	レジデント	専門修練医	計
国立病院	573	703	—	1,276
国立療養所	12	310	—	322
ナショナルセンター	106	488	94	688
計	691	1,501	94	2,286

### 2. 医師臨床研修指定病院数

公 的 *1	そ の 他 *2	国立病院 療養所 (A)	国 (その他)	一般病院 (B)	精神病院 (C)	合 計 (D)=(B)+(C)	国立病院等 の比率(%) (A)/(D)*100
235	197	44	18	494	15	509	8.6

\*1 都道府県、市町村、その他

\*2 社会保険関係、公益法人、その他

### 3. 医科大学(医学部)数(平成14年4月1日現在)

大学数	病院数
80	135

### 4. 医師臨床研修の実施状況について

国立大学	公立大学	私立大学	公私立の 指定病院	国立病院 療養所 (A)	合 計 (B)	国立病院等 の比率(%) (A)/(B)*100
4,530	986	4,055	2,664	686	12,921	5.3

\* 資料: 医政局医事課

## 看護師等医療従事者の養成

平成14年4月

養成区分		全国総数 (A)		国立病院・療養所 (B)		国立病院等の比率 (B) ÷ (A) × 100	
		学校数	1学年定員	学校数	1学年定員	学校数	1学年定員
助産師		127	5,468	5	165	3.94	3.02
看護師	3年課程養成所	508	23,297	66	3,730	12.99	16.01
	短期大学	64	4,310	0	0	0.00	0.00
	看護大学	91	6,530	1	100	1.10	1.53
	小計	663	34,137	67	3,830	10.11	11.22
看護師(2年課程)		401	17,113	6	220	1.50	1.29
准看護師		492	24,573	3	90	0.61	0.37
計		1,683	81,291	81	4,305	4.81	5.30
理学療法士		134	4,964	9	180	6.72	3.63
作業療法士		122	4,283	9	180	7.38	4.20
小計		256	9,247	9	360	3.52	3.89
視能訓練士		16	570	1	40	6.25	7.02
合計		1,955	91,108	91	4,705	4.65	5.16

注1) 理学療法士、作業療法士については、「リハビリテーション学院」として養成を行っているので、学校数を9校として取り扱っている

注2) 看護大学・助産師・保健師・看護師・准看護師の全国総数は「平成13年看護関係統計資料集」による。

注3) 理学療法士・作業療法士の全国総数は医政局医事課の平成13年度統計資料による。

# 平成13年度政策医療関連研修実施実績

(国立病院部主催研修)

研修名	担当施設名等	参加人数
がん医療研修会	国立がんセンター	20名
循環器病研修会	国立循環器病センター	30名
精神疾患研修会	国立精神・神経センター	15名
神経・筋疾患研修会	国立療養所下志津病院	17名
成育医療研修会(成育医療総合コース)	国立小児病院(現・国立成育医療センター)	17名
成育医療研修会(小児慢性疾患コース)	国立療養所三重病院	21名
呼吸器疾患研修会	国立療養所近畿中央病院	28名
免疫異常研修会	国立相模原病院	10名
重症心身障害研修会	国立精神・神経センター	30名
腎疾患研修会	国立佐倉病院	15名
内分泌・代謝性疾患研修会	国立京都病院	14名
感覚器疾患研修会	国立病院東京医療センター	11名
骨・運動器疾患研修会	国立療養所村山病院	10名
血液・造血器疾患研修会	国立名古屋病院	9名
肝疾患研修会	国立病院長崎医療センター	10名
長寿医療研修会	国立療養所中部病院	15名
HIV感染症研修会	国立国際医療センター	57名
脳卒中リハビリテーション研修会	国立療養所東京病院	20名
国立病院災害医療従事者研修会	国立病院東京災害医療センター	95名
国立ハンセン病療養所介護員研修会	国立療養所長島愛生園	28名
精神保健福祉研修会	国立精神・神経センター	34名
院内感染対策研修会	国立熊本病院	25名
医療情報システム研修会	国立国際医療センター	12名
EBM/総合診療研修会	国立病院東京医療センター	23名
栄養食事指導者研修会	国立病院東京医療センター	30名
治験研修会	国立国際医療センター	25名
リスクマネジメント研修	政策医療課	21名

## がん診療施設情報ネットワークの概要

### <目的>

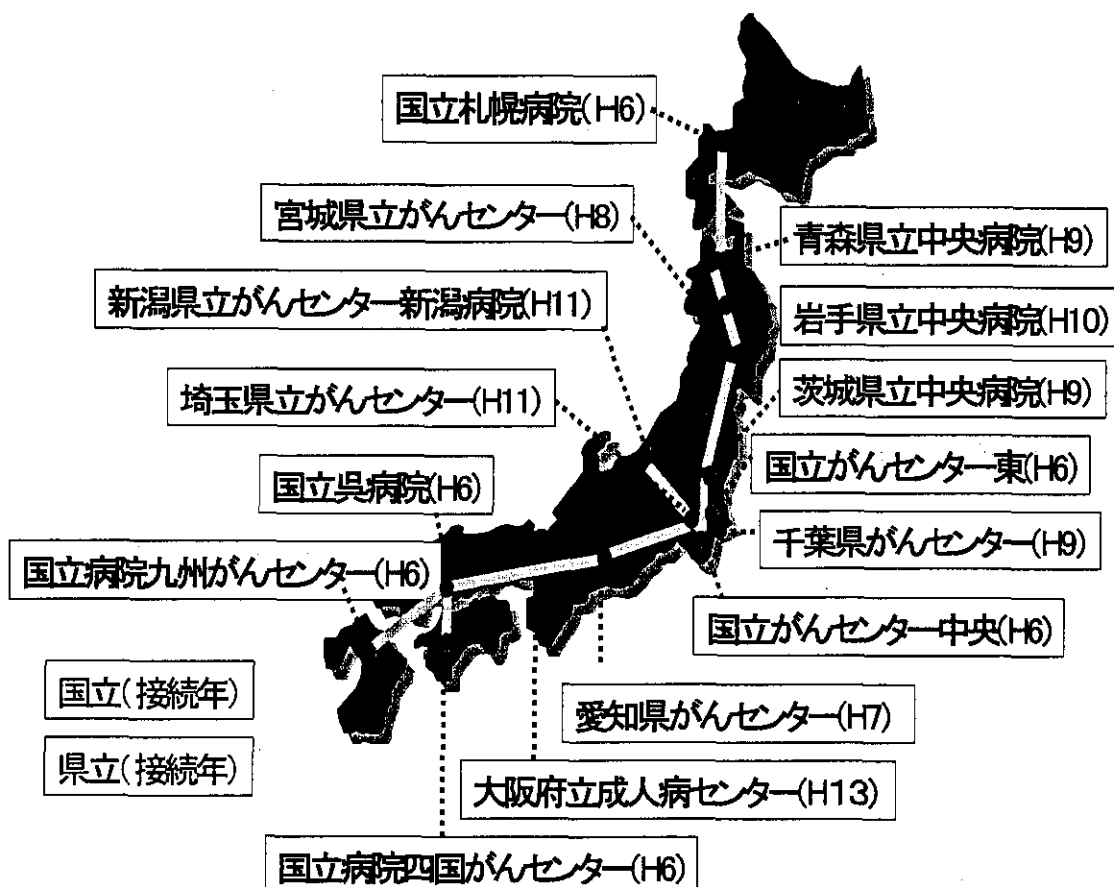
全国のがん専門施設間で、がんに関する最新の情報交換を行うことにより、わが国のがん診療レベルの向上を目指す。

### <概要>

#### ・参加施設

全国がん（成人病）センター協議会（通称「全がん協」）加盟のがん専門施設  
15施設（国立6施設、県立9施設）

平成13年5月末現在



#### ・がん診療施設情報ネットワークの機能

多地点テレビ会議カンファレンス（年間 約120回以上実施、延べ参加者1万5千人以上）、インターネット接続（電子メール、文献検索）、画像伝送、テレビ会議中の画像連携（ページめくり、ポインター制御）。

## 循環器病診療総合支援全国ネットワークシステム（循ネット）の概要

### 【目的】

循ネットは平成7年度補正予算において設置され、平成8年4月から運用を開始した。このシステムは全国の循環器病専門医療機関をネットワークで結び、循環器病に関する診療・研究を支援する目的で設置された。

循ネット参加施設は平成12年度に国立大阪病院が接続されたことにより、基幹医療施設8施設（函館、仙台、埼玉、東静、大阪、岡山医療、善通寺、九州循環器病）、専門医療施設1施設（大阪南）、静岡県立こども病院、岩手医科大学附属循環器医療センター、及び当センターの12施設である。

### 【利用計画】

1. 循ネット参加施設における診療情報の公開と、一般市民向けのインターネット情報提供を行う。
2. 多地点TV会議システムを利用した症例カンファレンス、及びライブセミナーなどを定期的実施する。
3. 動画像・時系列データを中心とした診療データの収集・蓄積システムを有効活用する。

### 【実績】

1. 循ネットPC端末を利用した電子メール・WWWなどインターネット機能を活用している。HOSPnetとの相互接続により政策医療ネットワークの推進を目的とした教育研修事業を情報活用の観点から支援している。
2. WWWを利用した情報発信として、一般市民や循環器病の患者さん向けに「循環器病情報サービス」として循環器病の原因や生活上の注意に関する情報を提供している。また、視覚障害者を対象にしたテキスト版も公開している。
3. 循ネット参加施設の循環器専門医及び研修医を対象とした自験症例について、インターネットに「症例レポート」を公開している。
4. 当センター手術室及びカテ室からのリアルタイムの映像をTV放映することによりライブセミナーを開催している。循ネット参加施設における教育研修事業として多地点TV会議システムを活用している。

## H I V 診 療 支 援 ネットワークシステムについて

### ① 構成要素

・ A - n e t

正式名称：H I V 診 療 支 援 ネットワークシステム

### ② 趣旨

患者のプライバシー保護を図りながら、診療情報の一部を国立国際医療センターのホストコンピュータに蓄積し、各エイズ治療ブロック拠点病院・拠点病院をネットワークで結ぶことにより、患者が診療を受ける病院のみならず、患者が希望すればA - n e t で結ばれた他の病院でもその診療情報が得られることになり、その情報を基に質の高い診療を可能とするものである。

また、このデータは疫学的研究にも用いられ、エイズ患者への治療の向上及びその発展に寄与するものである。

### ③ 運用開始

平成11年12月

### ④ 対象疾患

後天性免疫不全症候群

### ⑤ 参加施設数

155施設（国立国際医療センターを中心に国立病院等75施設、国立大学、公立、民間病院80施設）

### ⑥ 登録患者数

460人（14年4月現在）

# 腎疾患政策医療支援ネットワークシステムについて

## ① 構成要素

- ・ 腎ネットデータベース
- ・ 腎病理画像カンファランスシステム

## ② 趣旨

### ア) 腎ネットデータベース

腎疾患患者の基本情報、治療・検査経過等の情報を各疾患毎に登録し、データベース化することで、診療方針の決定や臨床研究等に活用する

### イ) 腎病理画像カンファランスシステム

腎の特殊な疾患について、参加病院間で病理画像等の情報を共有し、診断に関する意見交換あるいは専門病理医へのコンサルテーションを行うとともに、診療上重要な病理形態像を呈示し、臨床病態との関連や鑑別診断の観点から医師の教育研修を行うためのシステム。

## ③ 運用開始

平成13年10月

## ④ 対象疾患

- ・ 腎炎及びネフローゼ症候群
- ・ 糖尿病性腎症
- ・ 多嚢胞腎
- ・ 人工透析
- ・ 腎移植

## ⑤ 参加施設数

13施設

[ 西札幌、仙台、佐倉、千葉東、東京医療、金沢、京都、大阪、米子、岡山医療、高知、九州医療、長崎医療 ]

## ⑥ 登録症例数

### ア) 腎ネットデータベース

平成14年4月に第1回目の登録症例のデータ回収(データ回収は6ヶ月に1度)を行い、現在は集計作業中(概算で1,500強の症例が集積される見込み)。

### イ) 腎病理画像カンファランスシステム

16症例(平成14年4月現在)



# 肝疾患政策医療支援ネットワークシステムについて

## ① 構成要素

- ・ L-net(肝ネット)

## ② 趣旨

L-netを用いて日常診療の延長線上で肝疾患患者登録を実現し診療情報支援と収集されたデータを解析することにより診療支援、多施設ネットワーク研究のモデルを構築する。

## ③ 運用開始

平成13年7月

## ④ 対象疾患

- ・ 慢性B型肝炎のラミブジン治療症例(今後対象疾患を漸次広げていく予定)

## ⑤ 参加施設数

21施設

西札幌、仙台、西埼玉中央、相模原、横浜、横浜東、東京、中信松本、金沢、名古屋、京都、大阪、大阪南、岡山医療、呉医療、善通寺、小倉、九州医療、長崎医療、大分、国際医療

## ⑥ 登録症例数

62症例(平成14年1月現在)

## ⑦ その他

腎病理画像カンファランスシステムとを一部利用することで、肝臓病理組織のカンファランスシステムの試験稼動を本年度計画している。

### 【参考】 L-net登録症例数の変化(累計)

